



## 平成30年度 県立こどもの館・幼児教育研修会 募集案内

幼児教育に携わる関係者を対象に、子どもたちの豊かな感性や表現力、創造性を育む実践の手法や子どもたちとのよりよい関わり方について学び、実践的指導力を高めるための研修講座を実施します。

- 1 主催 公益財団法人兵庫県青少年本部 兵庫県立こどもの館  
※ 5・6回については、加古川市・加古川市教育委員会との共催となります。
- 2 後援 兵庫県教育委員会(予定)
- 3 日程・内容・定員等

回	日程	研究主題	講師	会場	定員
1	10:00 ～12:00	【感性と表現に関する領域：表現】 <b>造形あそび・造形表現</b> 「新しい自分を発見する ～表現の幅を広げる造形表現～」	兵庫大学 短期大学部保育科 教授 半田 結	兵庫県中央労働センター 大ホール	150
	内 容	絵を描くことに対しては、年齢が上がれば上がるほど上手・下手や得意・不得意といったことがつきまといやすく、抵抗を感じやすくなる傾向にあります。今回は、そんな関係ないとばかりに、クレヨン・パスを使って新しい表現を見つけてみましょう。それは自分のバージョンアップであり、子どもの表現を広げることにつながるはずです。			
2	7月27日 (金) 13:00 ～15:00	【身近な環境とのかかわりに関する領域：環境】 【教育・保育に関する現代的課題】 <b>これからの幼児教育</b> 「これからの保幼小の接続と、子どもの発達に応じた好奇心・探究心の育ち～教育・保育に関する現代的課題を踏まえて～」	大阪総合保育大学 児童保育学部 教授 瀧川 光治	兵庫県中央労働センター 大ホール	150
	内 容	幼児教育と小学校教育の接続期教育の開発が各地で進められています。幼児期の発達を踏まえ、それに伴った育ちと学びを育むこと、小学校教育の内容と方法に関する理解を深め、資質・能力の育ちをつなぐ視点をもった乳幼児教育を行うことなど、今回の要領・指針の改訂を踏まえて考えていきます。その際、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の「思考力の芽生え」を視点において、子どもの好奇心・探究心の育ちの発達過程を踏まえて考えていきます。			
3 ・ 4	7月31日 (火) 10:20 ～12:20	【感性と表現に関する領域：表現】 <b>音楽あそび</b> 「子どもの意欲を引き出す音楽遊び・表現遊び～協同する心を育むために～」	京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 こども教育学科 准教授 植田 恵理子	こどもの館 多目的ホール	120
	内 容	子どもたちの興味・関心を大切に、協同して意欲的に取り組んでいけるような音楽活動を考えていきます。「手遊び」から、かかわりを大切にした表現遊びへ、歌詞の意味を考える「相槌うた」・「即興ミュージカル」、読み聞かせを園児参加型にする「音の絵本」の方法などを体験します。			

5・6	8月3日(金)	9:30 ～11:30	【心身の健康に関する領域:健康】 【身近な環境とのかかわりに関する領域:環境】 <b>実技をとおして学ぶ運動あそび</b> 「関係性を育むふれ合いゲーム」 「運動会を幼児教育として取り組むには」	社会福祉法人 種の会 理事長 片山 喜章	加古川市立総合体育館 サブアリーナ	120
		12:30 ～14:30	内容 〈午前〉従来型のゲームをアレンジしてふれ合い場面を豊かにする。「戸惑い」「葛藤」をもたらせ「選択」できる場面をルールのなかに盛り込む。ルール理解のための段階指導がポイントになる。 〈午後〉「運動会の下地作りになる活動」や「ユニークな練習方法」を紹介。「小グループ」「短時間」「くりかえし」という三原則を具体化した活動紹介。最大の振り付け練習は「見て学ぶ」「見て、して、子どもどうして話し合う」「種目づくりのポイント」をたくさんの事例を使ってレクチャー。教育としての内容とイベントとしての演出。			
7	8月6日(月)	10:00 ～12:00	【心身の健康に関する領域:健康】 【人とのかかわりに関する領域:人間関係】 <b>体験学習・コミュニケーション</b> 「今、なぜ体験が必要なのか」	NPO 法人生涯サポート兵庫 理事長 山崎 清治	兵庫中央労働センター 大ホール	150
		内容 目標に向かって頑張る力、他の人とうまく関わる力、感情をコントロールする力、これらは非認知能力と呼ばれています。幼児期、児童期のあそびの中で、体験の中で育まれるものですが、ただ、あそびばいいというものではありません。どういう場を作ればいいのか、どう関わればいいのかを、実際のあそびを通じて考えていきます。				
8	8月6日(月)	13:00 ～15:00	【人とのかかわりに関する領域:人間関係】 【心身の健康に関する領域:健康】 <b>児童心理</b> 「子どものこころの発達を支えるもの～精神分析的発達理論と愛着理論から～」	大阪経済大学人間科学部 大学院人間科学研究科 教授 鶴飼 奈津子	兵庫中央労働センター 大ホール	150
		内容 子どものこころは、乳児期の主たる養育者との関係を基礎に、その後、保育所や幼稚園などより広い社会における様々な人たちとの関係の中で、またあらゆる外的な環境にも影響を受けながら、育まれていきます。こうした子どものこころの発達について、精神分析的な発達論の視点および愛着理論から解説します。				
9・10	8月7日(火)	10:00 ～12:00	【人とのかかわりに関する領域:人間関係】 <b>発達障害・合理的配慮</b>	関西国際大学 教育学部教育福祉学科 准 教授 松本 恵美子	兵庫中央労働センター 大ホール	150
		13:00 ～15:00	「就学までに発達障害児に伝えておきたいこと」 内容 〈午前〉発達障害の子ども達の困り感は乳幼児期から始まり、そのことに私たちがどれだけ早く気づき、その発達の道筋に寄り添うことができるかが、子ども達の将来を左右すると言っても過言ではないと思います。発達障害の子ども達の発達の道筋に添って、就学までに身に付けておいてほしいことをひとつひとつ丁寧に見ていきましょう。 〈午後〉発達障害の子ども達が出会う困った場面をいくつか想定し、その場면을上手に潜り抜けるために、私たちがその場面をどうとらえ、どう解決していくのかについての事例検討を実施します。「正解」はありません。皆さん方の理解と経験と発想力を駆使して、子ども達の困り感を理解し、少しでも取り除ける方法をみんなで考えていきましょう。			

◆ 参加申込みについて

《対象》 幼児教育、子育て支援、児童健全育成に関わる関係者等

《受講料》 無 料

《定員》 上記のとおり。各回会場の大きさによって定員が異なりますのでご注意ください。  
 ※各回とも先着順（定員を超え、お断りする場合のみ県立こどもの館から折り返し電話をさせていただきます。連絡がない場合は受付済みです。）

《申込方法》 県立こどもの館 HP <http://kodomonoyakata.jp/> を開き、講座案内の「幼児教育研修会」から PC またはスマートフォンにてお申し込みください。

※ インターネット等環境のない方は、県立こどもの館までお問合せください。

なお、HP の右上にある「こどもの館メールマガジン」にご登録いただきますと、当研修会に係る緊急時連絡についても個別に配信することができますので、是非ご登録ください。その際に、当研修会を受講される方は、名前の前に研修番号の 200 番をつけてください。(例)200 桜山花子

《申込締切》 平成 30 年 7 月 13 日 (金) (各回、定員になり次第、締め切ります。)

◆ 実技を伴う講座の持ち物

第 1 回 7 月 27 日 (金) ＜中央労働センター＞	第 3・4 回 7 月 31 日 (火) ＜兵庫県立こどもの館＞	第 5・6 回 8 月 3 日 (金) ＜加古川市立総合体育館＞
八つ切り画用紙 5 枚、新聞紙 2～3 枚程度 (下敷きと持ち帰る際に使用)、クレヨン・パスなどの描画材 (24 色程度、なければ何色でも OK)	新聞紙見開きの半分 (広告紙でも可、破りやすいものであれば何でもよい。B 4 以上の大きさならばよい。)、カスタネット等音が出る小さな楽器 (なければ手拍子でも可)、動きやすい服装 (女性用更衣室・男性用更衣スペース有り)、筆記用具	動きやすい服装 (女性用更衣室・男性用更衣室有り)、体育館シューズ、タオル、筆記用具、飲料水等
第 2 回 7 月 27 日 (金) ＜中央労働センター＞		
はさみ		

◆ 昼食について

「加古川市立総合体育館」「兵庫県中央労働センター」「兵庫県立こどもの館」ともに、昼食や飲み物等をお持ちいただいても結構です。所定の場所で飲食が可能です。ただし、ゴミはお持ち帰りください。

◆ 会場案内

加古川市立総合体育館  
サブアリーナ

住所：加古川市西神吉町 1010

電話：079-432-3000

【電車をご利用の場合】

◇ JR 宝殿駅北 2.7km

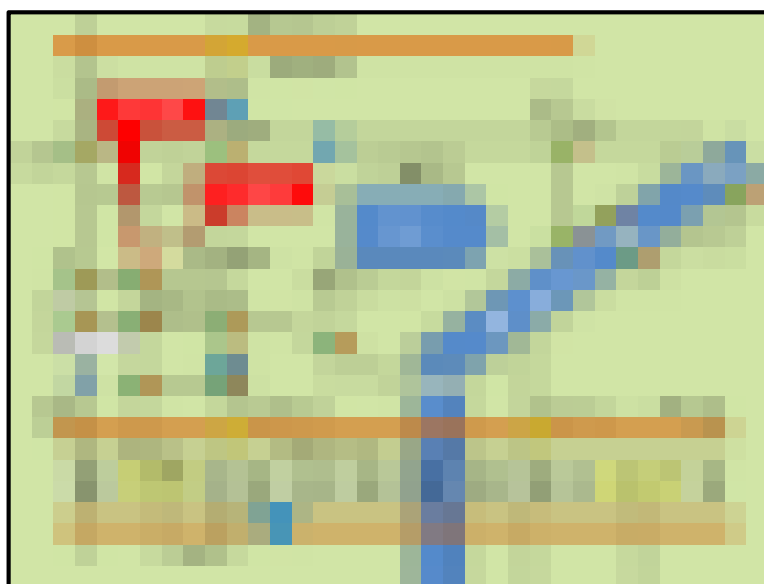
◇ 宝殿駅北口からバスで約 10 分

(細工所北口行き「西脇」下車徒歩 15 分)

【お車をご利用の場合】

◇ 加古川バイパス加古川西ランプから北へ車で 5 分

◇ 山陽自動車道加古川北インターから南へ車で 10 分。



[地図はこちら](#)

## 中央労働センター 2階 大ホール

住所：神戸市中央区下山手通 6-3-28  
TEL：078-341-2271

### 【電車をご利用の場合】

- ◇地下鉄「県庁前」駅 徒歩 7分
- ◇神戸高速鉄道「花隈」駅 徒歩 7分
- ◇JR西日本「元町」駅 徒歩 15分
- ◇阪神電車「元町」駅 徒歩 15分

### 【お車をご利用の場合】 地下駐車場

(1日最大1,500円)がありますが、収容可能台数が15台と限られています。できる限り公共交通機関をご利用ください。



[地図はこちら](#)

## こどもの館 1階 多目的ホール

住所：姫路市太市中 915-49  
TEL：079-266-3169

### 【電車をご利用の場合】

- ◇JR西日本「姫路駅」神姫バス約 25分
- ◇山陽電鉄「姫路駅」神姫バス約 25分

### 【神姫バスをご利用の場合】

④番のりば【37】日赤病院・青山経由  
太市行き乗車  
→→→「こどもの館前」下車 約 25分

姫路北④発 「太市」行	こどもの館前発 姫路駅行
9:25	16:03



[地図はこちら](#)

### 【お車をご利用の場合】

来館者用の駐車場がご利用できますが、収容可能台数が120台と限られていますので、できる限り乗り合わせてお越しく下さい。

### ◆ その他

警報発令等により中止する場合は、講座日当日の午前6時に、県立こどもの館のHPにその旨を掲載します。また、メールマガジンに登録していただいた方は、直接メールでお知らせいたします。

#### <問合せ先>

〒671-2233 姫路市太市中 915-49

TEL:079-266-3169 FAX:079-266-4632

<http://kodomonoyakata.jp/> 担当:指導課(鈴木)